

「日本語会話Ⅳ（就職希望者クラス）授業」

祥明大学 師範大学 日本語教育科
角 ゆりか

I 授業概要紹介

授 業 名 : 日本語会話Ⅳ

授業時間数 : 1コマ 75分 週2回 15週

対 象 者 : 4年生

受講者数 : 11名

参考教材 : 『受かる！自己分析シート』 田口久人 日本実業出版社 (2008)

『面接の達人 2013 (バイブル版) (問題集)』 中谷彰広 ダイヤモンド社 (2011)

『일본기업에 취직하기』 모리타마모루 (주)사일본어사 (2006)

目 標 : 日本関連企業への就職活動を見据えた日本語口頭能力の向上

[前半 1~8 週] 1) 就職活動に必要な敬語・言葉遣いの学習

2) 自己分析を通して気づいた自分の強みや経験を日本語で話す

[後半 9~15 週] 1) 会社分析を行い、日本語で発表する

2) 時事問題に関する様々な形のディスカッションを日本語で行う

II 授業紹介

授業の流れ: 1) 就職活動に必要な敬語・言葉遣いの学習 (20)

2) 自己分析→討論発表 (55)

1 週目 0.T	1	講義計画・授業概要説明 自己紹介・卒業の希望進路について質問
	2	心理テスト →心理テストを通して感じたことについて書いて提出
2 週目 自己分析 (1) 「好きなもの・好きなこと」	1	好きなモノとコト (行動) を思いつく限りリストアップする →グループでお互いに書いたものを質問、説明し合う →発表→モデル文を読む →課題
	2	課題として準備した「好きなもの・こと」に関して書いたものをペアになり、それぞれキャリアカウンセラーになったつもりで分析し、コメントを書き込む →発表し、全体からもコメントをもらう (数名) →コメントを元に書き直して提出
3 週目 自己分析 (2) 「座右の銘」	1	日本語の名言を紹介 →好きな言葉や知っている名言、諺をできる限りリストアップする →グループになり、それぞれが書いたものを説明 →発表→モデル文を読む →課題
	2	座右の銘を紹介する時の注意点について学習 →課題として準備した「座右の銘」に関して書いたものをペアになり、それぞれキャリアカウンセラーになったつもりで分析し、コメントを書き込む

		→発表し、全体からもコメントをもらう（数名）→コメントを元に書き直して提出
4 週目 自己分析 (3) 「大学生活」	1	チェックシートに大学生生活で経験したことについて書き込む →全体でそれぞれの項目に関する話を話し合う
	2	モデル文を読み、それについて全体で話し合う →課題として準備した「大学生活で印象に残っていること」について発表し、全体からコメントをもらう →文章にまとめて提出
5 週目 自己分析 (4) 「性格・ 自己PR」	1	性格や性格について話す際に必要な語彙や表現を学習 →全員のシートに各学生の長所や仕事に生かせると思う強みを書き込む →全体で自分の長所やシートへのコメントについて話し合う
	2	自分の長所や強みをより効果的に話す方法について学習 →課題として準備した「自己PR」を全員の前で1分間ずつ行う →全体で評価（内容/態度）し、コメントをし合う →コメントを元に書き直して提出
6 週目 自己分析 (5) 「志望動機」	1	仕事の種類（業種、会社名・・・） →仕事で必要にしたい価値観や自分の強みから適性にあった仕事についてグループで話し合う →発表→モデル文を読む →課題
	2	---学科の就職特別講義に代講---
7 週目 面接準備	1	志望動機についてのまとめ →これまでの学習項目、面接でよく聞かれる質問等の整理
	2	→ 面接の際のマナーや注意すべき点について学習 →You tube の面接対策の動画を見ながら話し合う
8 週目 中間テスト※	1	グループ面接
	2	個人面接

※中間テスト

●グループ面接（各グループ 15 分）

〔方法〕・学生・面接官・採点者の3つのグループに分ける

- ・面接官と採点者が面接学生を評価
- ・評価は＜マナー（3項目）・姿勢（1）・表情（1）・日本語（3）・内容（2）＞各5点、50点満点で採点
- ・質問はリストの中より選択（話の流れによりそれ以外の質問もOK）

●個人面接

〔方法〕・研究室にて1対1の個人面接

●自己紹介書（課題）

〔方法〕・自己PR、志望動機、大学生活、その他（自由に選択）の4項目の含まれるものを作成

Ⅲ 学生アンケート結果と課題

(5 点満点の平均)

1	授業の構成	4.5
2	日本語会話の授業で自己分析を行うこと	4.6
3	進路を決めるのに役立ったか	4.3
4	自分自身のことを知る機会になったか	4.3
5	授業を通して日本語会話能力が向上したか	4.7

<よかった点>

- ・就職活動に必要な実践的な言葉や表現が学習できた。 / ・敬語に自信が持てるようになった。
- ・面接の際に話す内容を準備できた。 / ・実際に面接で同じ質問が出た。
- ・希望業種の範囲を狭めることができた。 / ・はっきりと自分の進路を決めることができた。
- ・自分自身について考えることができた。 / ・日本語で話す機会が多かった。

<改善点>

- ・学習内容が多く、話す時間が少なかった。
- ・進路を決めるのはやはり簡単ではなかった。
- ・お互いの自己紹介書を読み合う機会もあればよかった。
- ・就職に必要な資格が何かを知りたかった。

<その他>

- ・自分自身を見直すたびに、恥ずかしくなった。
- ・自分自身の未熟さに気づいた。
- ・グループ面接はとても緊張した。

→→→反省/課題

- ・最後の志望動機に関する扱いが中途半端になってしまった。
- ・グループ面接の際、学生が恥ずかしがったので撮影を断念したが、記録として残しておくべきだった。
- ・もっと学生同士で話したり、フィードバックをする時間を作るべきだった。
- ・日本語の誤りと、就職活動の方法 についてどれほど触れるかの判断が難しかった。

Ⅳ 本日の論点

- ・扱った項目 (量 / 内容)
- ・学生の話す機会をより増やすためのアイデア。
- ・協働学習を効果的に取り入れる方法
- ・その他のご意見・改善点

<話し合いで出た意見>

- 敬語以外にも目標とする日本語の設定した方がよい。

→内容のみで、日本語自体の目標設定がない。

→面接の際には、多く話すよりもきっちりとした日本語を話せることのほうが大切。

- 振りかえりシート、自己評価シートなどを取り入れたほうがよい。

→活動自体は協働学習のようなものを取り入れてはいるが、内省活動がない。

- 面接に関する動画を最初に見たほうがよい。

→面接の難しさや、面接準備の必要性を最初に印象付けたほうが、その後の授業の動機付けになる。